

# わんぱく学園ニュース

平成19年 5～6月号 No130

白、淡紫色に咲く、何となくひなびれた美しさを感じる。花の一つひつつは浅い5裂の可憐な花、そして香りもある花…そう…馬鈴薯(はしか、薯、ジャガイロ)の花が咲く頃……。ジャワを経て渡来したので、この名もあるとか……。

「馬鈴薯の 花くれないの 香りかな」～垣

子どもは 国の宝だ！！

陶芸家 安食 ひろ

2日の朝日新聞で、み落としそうな、ちっちゃな記事を見つけた。でもとっても気になる記事だった。

モナコでの国際水路機関(IHO)総会で、日本は“日本海の単独表記”を求め、これが採択されそうで、韓国は“東海と日本海”の併記を主張…という記事である。

今の日本は、ちょっとオカシイ。余りにも大人気ない。まるで子供みたいである。日本の海である訳ないじゃない。韓国の人にとってみれば、日本海なんて嫌に決まってるじゃないか。

竹島の件にしても、子ども達は、韓国・中国の友達とケンカなどしたことないのに今の大人は、よりによって今、昔のケンカを持ち出して争いを始めることないじゃない。

政治、教育、行政一般、何んであれ、子ども達・孫達の為になるか否かを考えて決定すれば間違いないと思うけれど。

5月初夏の風

わんぱく学園、この頃、子ども達の出席が少なくてさみしい。

さて、4月に楽しんだ『学園』の遊びの一部を紹介致します。

## タケノコほり

2月のわんぱく学園活動の時のこと。たこ焼きを作りながら、「竹の子掘りを4月のメニューに入れて下さいね。今年は例年より早いかもわかりませんから」と。

竹の子山の持ち主の了解も得ていないのに、今年も行かせてもらえるものと、スタッフの大人の方が楽しみにしていた。

竹の子山は、事務局の土江和世先生の実家にある裏山。お兄さんの原周弘さんもお忙しく、なかなか連絡が取れなかったようであるが、4月15日に決定。大丈夫かなと思いながら、その日を楽しみに待っていた。

当日は、春の爽やかな好天気。参加者は、田中晴都さん親子、吾郷元紀さん親子、土江広さん親子とスタッフの福田稔先生と私、原幸枝であった。いつも参加する長岡姉妹と曾田亮さんは別の会があり、参加できないと連絡が入っていた。色々な所に張り切って参加していることを聞きうれしく思った。

土江先生の話だと、お兄さんは留守かもとのことで、大丈夫かなあと思いながら到着。ところが着いてみると、家主の原周弘さんがスコップ等準備して待っていて下さった。

裏山に行くと、ほんの少し頭をのぞかせている竹の子の側に、竹の棒に赤いビニール紐がくくり付けてあった。また、鹿追いの鉄砲を向けられないようにと連絡もとっておられた。「竹の子掘り、ヤッター」と単純な思いで行かせてもらっているが、迎えて下さる原周弘さんの細やかな配慮に感謝した。晴都さんも元紀さんも「ここにもあったー！」とマイシャベルで力を込めて掘っていた。しかし、最後の掘り起こしは原さんにしてもらった。運び役は三人。晴都さんと広さんは、赤いビニール紐を沢山集め、ポッケにいっぱいつめて得意顔であった。

今年はまだ持ち主さんも掘っていないと言われる竹の子山で一時間半、赤い目印の他にも見つけ、竹の子掘りを充分堪能した。30~40個の掘った竹の子の山が出来た。

桜の木の下で少し早いお弁当タイム。一年生になった元紀さんの学

校の話の聞いたり、去年ここで戴いた桜の花の塩漬けの失敗談を話したりしながら楽しい時を過ごした。原周弘さんは、今年もジュースやお菓子など沢山準備して出して下さった。ありがたくみんなで頂いた。(ご注意、毎年出して頂くと来年もと期待してしまいますよ)

帰りに隣の家で、牛舎100頭はいる牛を見せてもらい、自分達で掘った沢山の竹の子を車に積み、帰路についた。

私は、竹の子を見て思い出すのが今は亡き両親との思い出の一つ。両親と一緒に竹の子掘りに行ったり、皮をむいたり手伝ったりしたことを。そして、ワラビを取りに行ったり、柏餅や餅つき等姉妹で手伝ったりした。そんな一緒にした温かい思い出が沢山積めるよう育んでいきたいと思った。

そういう意味でも、この「わんぱく学園」は、とても大切な活動であると思っている。特別支援に携わっておられる先生方にも、この「わんぱく学園」が創設された主旨を理解して頂き、一度是非親も誘って参加し「わんぱく学園」への道を開いてほしいと願っている。子ども達に参加して楽しかったという道を最初につけてもらおうと、きっと自分達でも参加すると思う。(学園スタッフ 原 幸枝 記)

◆5月の「わんぱく学園」のメニューは下記の通りです。

|        |   |
|--------|---|
| 5月 20日 | 山登り旅伏山へ登らない?(担当 福田 穰)<br>水筒 ごみ入れ袋 集合場所; 光人塾前駐車場                                 |
| 27日    | 粘土コネコネあそび!(担当 安食 暁・土江 颯 アトリエおちらと)<br>野だて…山崎古墳にて 料費200円<br>直接「アトリエ」おちらとへ来てもいいですよ |
| 6月 3日  | 宍道の森林公園で遊ぼう(担当 原 鞆・山口 蕪)<br>おにぎり 水筒 ごみ入れ袋 雨天の場合「おちらと」<br>集合場所; 光人塾前駐車場          |
| 10日    | 粘土で遊ばない?(担当 安食 暁 颯 アトリエおちらと)  |
| 17日    | いかだ遊びの絵を描こう!?(担当 槇野 颯 颯 ギャラリーミチル)<br>ミチル喫茶でいかだ遊びのお話聞かない?                        |
| 24日    | 笹巻作り(担当 伊藤 颯・土江 颯 颯 おちらと)料費200円   |

※集合時間9時30分・集合場所文化館駐車場 [文責 土江和世]